



GTR

Transformative Chem-Bio Research
Nagoya University

名古屋大学 卓越大学院プログラム
トランスフォーマティブ
化学生命融合研究大学院プログラム

GTR-ITbM Seminar

日時
場所

2025年4月18日 16:00-17:00
理学部A館 A222



新しいモデル植物を作って、 未解明の生物現象を研究する

長谷部 光泰

自然科学研究機構 基礎生物学研究所
生物進化研究部門 教授

陸上植物は約5億年前に緑藻類が上陸することで起源した。今日までの突然変異の蓄積と自然選択や遺伝的浮動によって、好奇心をくすぐる多くの生物現象が進化してきた。今回の集中講義では、新規形態を生み出す発生様式の変化を考えながら、陸上植物全体の多様性を総覧した。そして、モデル植物だけでは解き明かせないような不思議が、たくさん残っていることに気づいてもらいたかった。では、そんな不思議に興味を持ったらどうしたら良いのだろうか。我々は、植物には共通のボディープランがあるのか、植物はどのようにして分化細胞から幹細胞に簡単に変化するのかを研究するためにヒメツリガネゴケ、脳も無いのに記憶できる仕組みを調べるためにハエトリソウ、神経も無いのに活動電位を発生伝播する仕組みを調べるためにモウセンゴケとオジギソウを使って研究を進めてきたので、新しいモデル植物を作って研究する楽しみを紹介したい。

連絡先

土屋 雄一郎

トランスフォーマティブ生命分子研究所 植物化学遺伝学グループ
tsuchiya.yuichiro.v0@f.mail.nagoya-u.ac.jp

主催：卓越大学院プログラム トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム

共催：トランスフォーマティブ生命分子研究所 (WPI-ITbM)

